

令和4年度第12回 感染症発生動向調査部会
議事要旨

1 日 時 令和5年3月15日（水） 14:00～

2 場 所 岐阜大学医学部本館 1階 応接室（岐阜市柳戸1-1）

3 出席者

委 員 : 馬場 尚志（岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター センター長）
大西 秀典（岐阜大学大学院医学系研究科 小児科学 教授）
加藤 達雄（国立病院機構長良医療センター 呼吸器内科統括診療部長）
石山 俊次（石山泌尿器科皮膚科）
オブザーバー: 市原 拓（岐阜市保健所 感染症対策課 感染症対策係長）
事務局 : 石塚 敏幸（感染症対策推進課 感染症対策第二係長）
山田 涼子（感染症対策推進課 技師）
今尾 幸穂（保健環境研究所 疫学情報部長）
岡 隆史（保健環境研究所 主任専門研究員）

4 議 題 （進行：大西委員）

- (1) 前月の感染症発生動向について
- (2) 検討すべき課題について
- (3) その他（感染症対策推進課から）

5 議事要旨

【前月の感染症発生動向について】

- ・事務局からの説明は資料のとおり。
- ・月番委員のコメントについては資料のとおり。

【検討すべき課題について】

○今シーズンのインフルエンザの流行について（継続）

（事務局から）

- ・岐阜県全体としての今シーズンの発生報告数は低いレベルでの推移が続いていますが、未だ注意レベルを超えている地域もあり、今後もしばらく地域的な流行が起こる可能性が考えられます。

（委員から）

- ・データをみると、3月上旬時点での今シーズンの報告数は、2018/19 シーズンより上回っており、低いレベルではあるが、やや流行が遷延しているようにも思う。
- ・今シーズンもこれまで大きな流行はみられなかったことから、社会にまだインフルエンザに対し高い感受性を持った人が相当数残っていると考えられる。歓送迎会や花見など、人が集まる機会が増加する季節を迎えるにあたって、流行への一定の警戒が必要かもしれない。